

第19号

ほんきょうろ

本郷とは人類の本当の故郷(地上天国)という意味です。従って、本郷路とは地上天国実現のための道路です。(題字は文鮮明師)



本郷路

昭和61年(1986年)7月1日発行

発行所 国際ハイウェイ建設事業団

東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大宗ビル3号館4F TEL 03(496)2893

THE INTERNATIONAL HIGHWAY CONSTRUCTION CORPORATION

海洋ボーリング工事

対馬西海域に調査船就航

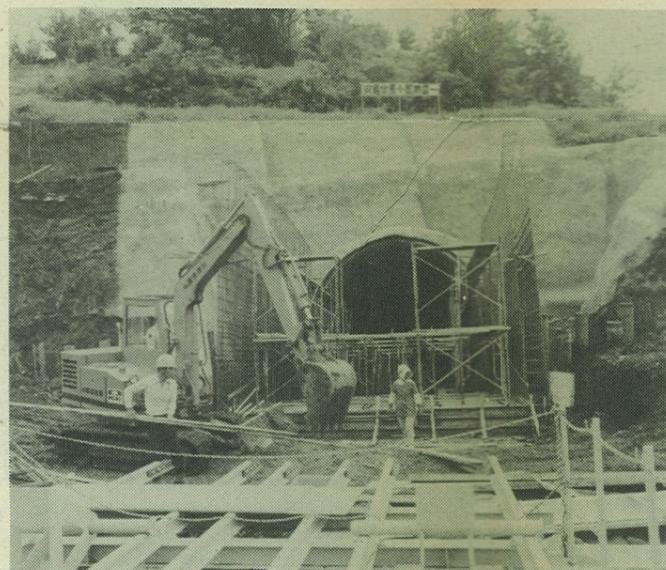
日本と韓国の間広がる対馬海峡は、古代から両国の歴史の中で重要な役割を果たしてきた。そして今、この海峡の下に両国を結ぶトンネル計画が着々と進められている。これまでこの海峡では、トンネル建設のために音波探査による間接的な海底地質調査が広範囲にわたって行われてきたが、設計段階に入った現在では、更に詳しい海底地質データが必要となってきた。そこで今年四月、東海サルベージ(株)の地質調査船「KAIKO-101」は、対馬西海域で海底下五百メートルを目標にボーリングを開始し、海底のコアサンプルを採取した。そのボーリングデータは、国際ハイウェイ建設事業団によって購入されたが、同データは今後のトンネル計画を進めていく上で非常に重要な情報をもたらすものと期待されている。(第三面に関連記事)



対馬西海域でボーリング中の地質調査船「KAIKO-101」

建設進む調査斜坑 掘削開始、目前に迫る

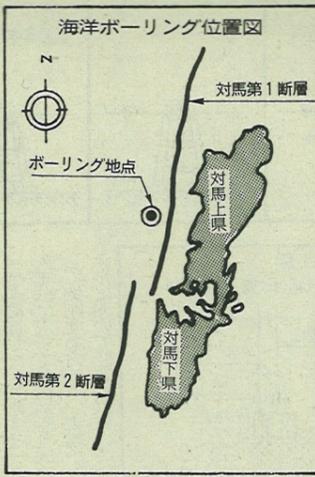
唐津事務所



この夏の掘削開始をめぐり、工事中の調査斜坑現場

七月にはいり、国際ハイウェイ建設事業団が佐賀県唐津市鎮西町に進めている日韓トンネル調査斜坑の坑口設備工事も最盛期を迎えた。七月にはいり、国際ハイウェイ建設事業団が佐賀県唐津市鎮西町に進めている日韓トンネル調査斜坑の坑口設備工事も最盛期を迎えた。

海洋地質調査船「KAIKO-101」は、佐世保港内でボーリングの準備を終え、四月十九日対馬海峡に向けて出帆した。同調査船は、総トン数二千二百九十トン、日本唯一の本格的ボーリング船として八四年六月に進水。八五年八月には、新潟沖で海底下五百メートルのボーリングを終えている。全長七十五・五メートル、喫水五・二メートル、船尾にヘリポートを備え、最大水深三百メートルの海域で海底下千メートルのボーリング能力をもつ。ボーリング地点は、対馬上東



春を迎えた対馬海峡は穏やかであつた。対馬では陸海とも調査が終了しており、対馬西海域に第三紀層が広範囲に厚く堆積していることが判明している。そのため今回の調査で得られる試料によって、ルートの変更やトンネル掘削工法の決定に大きな手がかりが得られるものと期待している」と、海洋ボーリングの意義を語っていた。

自由公路

自由公路 宣伝カーのマイクの音が窓の外から勢いよく飛び込んでくる。衆参同日選挙を目前にして日本列島は選挙一色だ。東京サミットで世界の注目を浴びただけに、選挙の行方にも各国の目が集まっている。広く国際的視野で国政に携われる人を国民の代表として国会に送りたものだが、今度の選挙で最も頻りに使われている言葉は、「二十一世紀」と「若い力」という。経済的絶頂期を迎えた日本が、国際社会の一員として将来への備えをなす時期にきていると思われ

平和の架け橋・国際ハイウェイプロジェクト

(ご案内)

ビデオ

- 「国際ハイウェイ」(23分)【日・英語】
●「道・国際ハイウェイ・プロジェクト」(30分)【日・英語】
●「本郷路」Ⅱ(11分)【日・英語】
●「本郷路」Ⅲ(23分)【日・英語】

16 ミ リ

- 「道・国際ハイウェイ・プロジェクト」(30分)

パンフレット

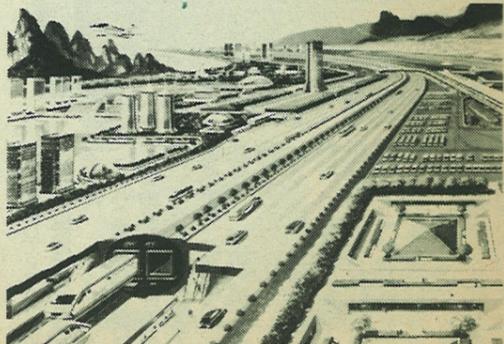
- 「国際ハイウェイ・プロジェクト」(A4判、12頁 カラー)
●「国際ハイウェイ基本構想」(A4判変型、40頁)
●「INTERNATIONAL HIGHWAY PROJECT」(B5判、17頁)【英語】

機関紙

- 「本郷路」(タブロイド判4頁)

●お申し込みお問い合わせ

TEL 03-496-2893



国際ハイウェイ建設事業団 THE INTERNATIONAL HIGHWAY CONSTRUCTION CORPORATION

〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大宗ビル3号館4F TEL 03-496-2893





